



「おいしいキャベツをありがとう」

南比都佐小学校「小学生と生産者との食育交流会」



▲給食を囲んで交流されました



▲大きなキャベツを手にも説明されました

1月31日（金）、南比都佐小学校で1・2年生と生産者との食育交流会が行われました。この取り組みは1月下旬の給食週間に合わせて行われ、給食で使用しているキャベツを生産されている寺本かつさん、野口幸枝さんと児童が交流しました。

寺本さんは、種をまいてからのキャベツの成長や、薬を使わず手で虫を取るなどの工夫をビデオで説明し「皆さんに食べてもらえる大きなキャベツができて、とてもうれしいです」と話されました。学習の後には、寺本さん、野口さんも一緒に給食を食べ、児童の皆さんは「キャベツが甘くておいしいです」と味わいながら食べていました。

北山茶の香り、旨みを体感

西大路小学校でお茶のいれ方を学ぶ

1月31日（金）、西大路小学校5年生の皆さんが、北山茶生産組合の皆さん等からお茶の種類やおいしいお茶のいれ方を学びました。

児童の皆さんは、北山茶のかぶせ茶やほうじ茶、紅茶などをそれぞれにあつた方法でいれ、味や香りの違いを楽しみました。

北山茶生産組合の木田光夫組合長は「お茶は日本の文化です。急須でいれるお茶の味を知ってほしいです」と話されました。



▲時間をかけて丁寧に お茶をいれました

竹かご作りに挑戦

農村体験インストラクタースキルアップ研修

三方よし！近江日野田舎体験推進協議会では、竹林の整備や林業・伝統工芸の継承事業として「竹かご作り」を2日間に分けて実施されました。

講師は東近江市、市辺町にお住まいの谷喜助さん。かつて市辺町には多くの竹職人さんがいましたが、現在では谷さんお一人だそうです。

谷さんには、「竹をあげる（剥ぐ）」材料作りから、かごを編み上げるまで、匠の技を惜しみなく教えていただきました。受講者の皆さんは「一朝一夕では出来ない」ことが分かり、大切に残していきたい「技」であることを実感されていきました。



▲見事な竹かごが出来上がりました

▶実際に編みながら丁寧に指導してくださいました





まぢの

氏郷公をNHKの大河ドラマに

蒲生氏郷公を語る縁の集い

2月6日(木)、松阪市、会津若松市、日野町の3市町長と蒲生氏郷公顕彰会が京都で「蒲生氏郷公を語る縁の集い」を開催されました。

勇猛果敢な武将で、茶の湯や和歌・連歌に長けた文人でもあった氏郷公は、千利休七哲の筆頭、千家再興の礎の人物です。今後、3市町と千家を交えた「蒲生氏郷公奉賛会」を設立し、連携をさらに深め、氏郷公をNHKの大河ドラマに取り上げてもらえるよう活動をしていこうとの思いで一致しました。

また、3市町は平成14年に「蒲生氏郷公ゆかりネットワーク共同宣言」に署名し、様々な交流をしていますが、氏郷公をキーワードとして3市町共同による商品開発などにも取り組んではどうかなど新たな提案もされました。



▲蒲生氏郷公を語る縁の集いであいさつをする日野町長

アレルギーについて知ろう

PTA教育講演会



◀アレルギー症状が出た場合に使用する注射(エピペン)の使い方も学びました



▲アレルギーの種類や薬、対処方法について詳しくお話しされました

2月7日(金)、西大路小学校でPTA教育講演会「アレルギーの正しい理解と最新治療」があいさか小児科の相坂明先生を招き、行われました。講演会は、保護者と教職員合同で行われ、食べ物・花粉症などのアレルギー、アトピー性皮膚炎などに注目し、正しい理解と対処の仕方などについて説明がありました。特に、食べ物によるアレルギーは、間違った対処をすれば命に関わる重大なものであることから、正しい対処方法と、予防方法について参加者全員で考える機会となりました。

地域3世代で交流

鎌掛地区昔遊びのつどい

2月9日(日)、鎌掛森林交流センターで鎌掛地区昔遊びのつどいが行われました。

この取り組みは、鎌掛地区社会福祉協議会、地区の老人会、子ども会指導者会の皆さんで行われました。

地域のおじいさん・おばあさん、子ども達、保護者の3世代が竹とんぼや竹馬、あやとり、お手玉などの昔ながらの遊びで交流されました。子ども達は、保護者や地域の方に竹馬の乗り方や竹細工の作り方を「教えてください」と声をかけ教わっていました。

保護者や地域の方も久しぶりに昔ながらの遊びをされ、童心にかえって楽しまれていました。



▲近所に住む「竹細工の達人」に竹細工を教わりました